

## 成果の説明書

(氏名) 梅田宙	(学部)経済学部
1 重要事項	
【研究】	
①刊行物	
(1)論文	
・大西淳也・梅田宙「組織間管理会計についての論点の整理」『PRI Discussion Paper』19A(11), pp.1-38。	
・梅田宙(2019)「医療機関における部門別原価計算の活用実践」日本管理会計学会スタディ・グループ 2017 年度採択『医療機関におけるマネジメント・システムの導入とその成果に関する研究 (最終報告書)』,pp.66-80。	
・大西淳也・梅田宙(2019)「耐用年数についての論点の整理」『PRI Discussion Paper』19A(05), pp.1-26。	
・大西淳也・梅田宙(2019)「プロジェクト等の経済性計算についての論点の整理」『PRI Discussion Paper』19A(04), pp.1-32。	
・大西淳也・梅田宙(2019)「RPA と事務改善活動についての論点の整理」『PRI Discussion Paper』19A(03), pp.1-23。	
(2)その他	
・梅田宙(2019)「業績好調のオリエンタルランドとリスク管理：災害と資金調達」『会計人コース』9月号, pp. 58-60。	
・梅田宙(2019)「セブン&アイ・ホールディングスと加盟店：コンビニ会計に焦点を当てて」『会計人コース』10月号 pp.106-108。	
・梅田宙(2019)「日本管理会計学会 2019 年度年次全国大会学会ルポ」『企業会計』11月号。	
②口頭発表	
・梅田宙「水道事業コンセッションの問題」日本管理会計学会,2019年8月29日	
・スタディ・グループ「医療機関におけるマネジメント・システムの導入とその成果に関する研究 (最終報告)」日本管理会計学会,2019年8月29日	
・関谷浩行・梅田宙・伊藤和憲「病院マネジメントの実態調査とインタンジブルズ」医療バランス・スコアカード研究学会, 2019年9月29日	
③未刊行の原稿	
・梅田宙”Determinants of management information disclosure scope within the medical institution”, <i>Japanese Management and International Studies</i> (投稿予定)	
・梅田宙・西原利昭・梅田充・伊藤和憲 (2020)「日本企業の統合報告の現状」『産業経理』(投稿済み)	
・梅田宙・平野耕一郎「100年先を見据えた持続的な経営システムの構築」	
・大西淳也・梅田宙「予算管理論についての論点の整理」『PRI Discussion Paper』(投稿予定)	

**【教育】**

講義は学生が受講した知識を活用してアウトプットが出せるように工夫した。例えば企業が開示している情報を用いて安全性や収益性などを分析するレポートを課した。レポートは google classroom を通じて提出され、添削を行い、各受講生にフィードバックした。

ゼミは、テキストの輪読、経済紙や新聞を活用した企業のケース分析などを行った。3年生は日経ストックリーグに参加した。4チーム中1チームのレポートが入選した。

2 その他の事項

- ・日本管理会計学会 2019 年度年次全国大会実行委員
- ・日本管理会計学会選挙管理委員（2019 年度）

3 次年度以降の計画・抱負

**【研究】**

- ・水道事業の研究を進めていく。現状は水道局のマネジメント・システムの論文を推考する。
- ・インタンジブルズと組織設計の関係の調査を進めていく。
- ・共同研究として、メルコ学術振興財団から得た研究助成、「企業間ネットワーク構築における管理会計情報の貢献：インタンジブルズの利用を中心に」を進めていく。

**【教育】**

- ・講義：前度の講義資料をベースとしつつ、内容を更新していきたい。具体的にはケース企業を選定する際、学生の関心が高いと思われる企業の財務諸表を用いる、雑誌や新聞を題材としたものは新しい記事を使うなどを行う。
- ・ゼミ：輪読を継続するとともに他大学とのインゼミでの報告を目指す。